

CentreCOM®
LA100-PCI-T
Z1

ユーザーマニュアル

©1999 アライドテレシス株式会社

安全のために



必ずお守りください

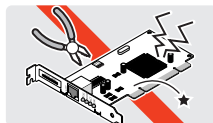


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物、水は禁物

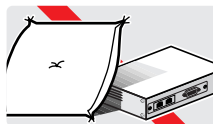
火災や感電の恐れがあります。水がかかったり、異物が触れないように注意してください。万一水がかかったり、異物が触れた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差したままでは、コンピュータに電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 95%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。



取り扱いをいねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



お手入れには次のものは使わないでください

- ・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



シンナー
類不可

0 はじめに

「CentreCOM LA100-PCI-T Z1」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

0.1 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認ください。万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- LA100-PCI-T Z1 本体
- ドライバーディスク（1枚）
- ユーザーマニュアル
- 製品保証書（永久保証）
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- WOL ケーブル

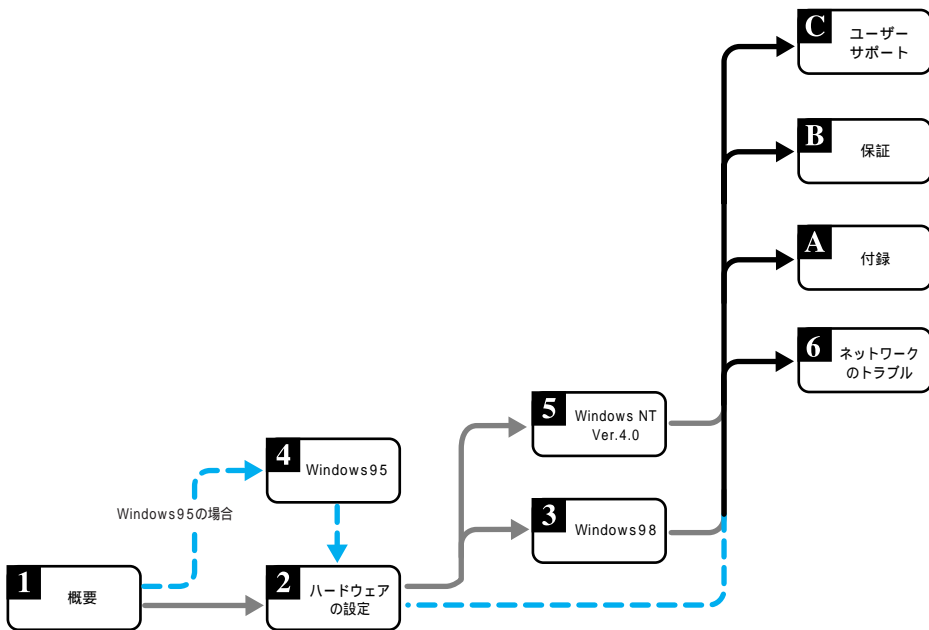
0.2 このマニュアルの構成

このマニュアルは、下図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム（OS）に応じて、図のように読み進んでください。OS（ドライバー）に依存したトラブルシューティング（エラーメッセージ）は、各章ごとに説明されています。OS に依存しないネットワークに関するトラブルについては、第6章で説明されています。

0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」



目次

0 はじめに.....	4	4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認..	23
0.1 内容物をご確認ください.....	4	4.3.2 ネットワークの設定.....	24
0.2 このマニュアルの構成.....	4	4.3.3 ドライバーの設定.....	25
0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」.....	4	4.4 ドライバーの削除.....	26
1 概要.....	6	4.5 ドライバーの再インストール.....	27
1.1 特長.....	6	4.6 ドライバーのトラブル.....	27
1.2 使用環境.....	6	4.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない.....	27
1.2.1 対応コンピュータ機種.....	6	4.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く.....	28
1.2.2 対応オペレーティングシステム.....	6	4.6.3 違うドライバーがインストールされた.....	28
1.3 各部の名称と働き.....	6	4.6.4 リソース値重複の回避.....	28
1.3.1 各部の説明.....	6	5 Windows NT Ver. 4.0.....	30
1.3.2 動作表示 LED.....	7	5.1 インストール時のご注意.....	30
1.4 ドライバーディスク.....	7	5.2 ドライバーのインストール.....	30
2 ハードウェアの設定.....	8	5.2.1 用意するもの.....	30
2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し.....	8	5.2.2 新規インストール.....	30
2.1.1 コンピュータへの取り付け.....	8	5.3 インストールの確認とアダプターの設定.....	34
2.1.2 コンピュータからの取り外し.....	8	5.3.1 リソース値の確認.....	34
2.2 イーサネットへの接続.....	8	5.3.2 ドライバーの設定.....	35
2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続.....	8	5.4 本製品を使用しないとき.....	35
2.2.2 リンクの確認.....	9	5.5 ドライバーの削除.....	36
3 Windows98.....	10	5.6 ドライバーの再インストール.....	36
3.1 ドライバーのインストール.....	10	6 ネットワークのトラブル.....	37
3.1.1 用意するもの.....	10	A 付録.....	38
3.1.2 新規インストール.....	10	A.1 製品仕様.....	38
3.2 インストールの確認とアダプターの設定.....	12	A.2 10BASE-T/100BASE-TX インターフェース.....	38
3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認.....	12	A.3 MAC アドレス.....	38
3.2.2 ネットワークの設定.....	13	A.4 Wake on LAN®.....	39
3.2.3 ドライバーの設定.....	13	A.4.1 Wake on LAN®とは.....	39
3.3 ドライバーの更新.....	14	A.4.2 Wake on LAN®の必要条件.....	39
3.4 ドライバーの削除.....	16	A.4.3 Wake on LAN® コネクタへの接続.....	39
3.5 ドライバーの再インストール.....	17	A.4.4 Magic packet.....	39
3.6 ドライバーのトラブル.....	17	A.5 フローコントロール.....	39
3.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない.....	17	A.5.1 フローコントロールとは.....	39
3.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く.....	17	A.5.2 フローコントロールの設定方法.....	40
3.6.3 違うドライバーがインストールされた.....	17	A.5.3 フローコントロールの使用条件.....	40
3.6.4 リソース値重複の回避.....	17	B 保証.....	40
4 Windows95.....	19	C ユーザーサポート.....	40
4.1 インストールの前に.....	19	C.1 調査依頼書のご記入にあたって.....	40
4.1.1 Windows95 でのインストール手順.....	19	C.2 システムレポートの出力方法.....	41
4.1.2 Windows95 のバージョンの確認.....	19	C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法.....	41
4.2 ドライバーのインストール.....	20	D ご注意.....	42
4.2.1 用意するもの.....	20	E 商標について.....	42
4.2.2 新規インストール.....	20	F マニュアルバージョン.....	42
4.2.2.1 インストーラによるドライバーの組み込み.....	20		
4.2.2.2 Windows95 ファイルのコピー（再起動後）.....	21		
4.3 インストールの確認とアダプターの設定.....	23		

1 概要

本製品の特長、使用環境、各部の名称について説明します。

1.1 特長

本製品は PCI 規格に適合したバスを持つコンピュータを Fast Ethernet Baseband LAN システムに接続するための LAN アダプターです。

本製品は IEEE802.3 10BASE-T 規格とともに、IEEE802.3u Fast Ethernet 規格に準じた 100BASE-TX 規格に適合しており、ご使用のネットワーク環境に応じて 10M/100M Ethernet を自動的に切り替えて動作します。

- ・ 32bit バス・マスタ転送方式を採用
- ・ 100M/10Mbps 通信を同一のポート (RJ-45 コネクタ) でサポート (自動切替)
- ・ 100M/10Mbps 通信で Full duplex (全二重) 通信が可能 (自動切替)
- ・ PCI BIOS によるオートコンフィグレーション (I/O アドレス、インタラプトレベルの自動設定)
- ・ 動作状態を表示する 3 個の LED が付属
- ・ Auto-negotiation 機能搭載
- ・ ACPI に対応^{†1}
- ・ Wake on LAN[®] 機能に対応^{†2}
- ・ フローコントロール (IEEE802.3x) に対応^{†3}



^{†1} ACPI 機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム (OS)、ドライバーのもとでご使用になれます。

^{†2} Wake on LAN[®] 機能に対応したコンピュータ、オペレーティングシステム (OS)、BIOS のもとでご使用になれます。Wake on LAN[®] について詳しくは、「A.4 Wake on LAN[®]」(p.39) を参照してください。

^{†3} 接続先装置も、フローコントロール (IEEE802.3x) に対応している場合に使用することができます。詳しくは、「A.5 フローコントロール」(p.39) を参照してください。



レジューム機能について

本製品を使用中は、レジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中にコンピュータがサスペンド状態になった場合、通信の切断や、その他予期しないエラーが発生することがあります。

1.2 使用環境

1.2.1 対応コンピュータ機種

本製品は、PCI バスコネクタを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- ・ AT 互換機および NEC PC98-NX

1.2.2 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム (OS) に対応しています (日本語版のみ)。

PC/AT 互換機 (DOS/V 機)、NEC PC98-NX シリーズ

- ・ Windows95/98
- ・ Windows NT4.0 以上 (x86 版)

1.3 各部の名称と働き

1.3.1 各部の説明

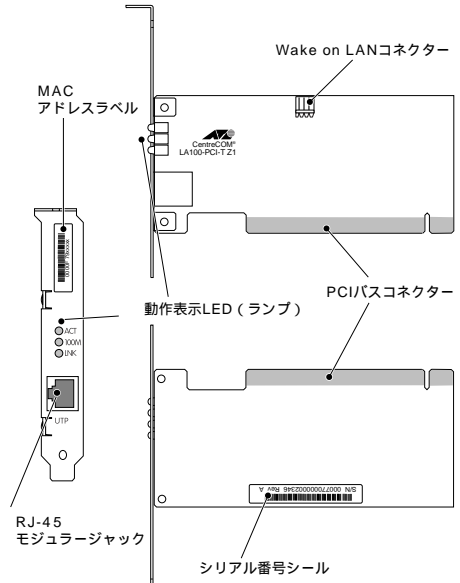


図 1.3.1.1 外観図

シリアル番号シール

製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンコードが記載されています。これらはユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

動作表示 LED (ランプ)

動作状態を 3 個の LED (ランプ) で表示します。詳細は「1.3.2 動作表示 LED」(p.7) をご覧ください。

MACアドレスラベル
各製品に固有の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレスについては「A.3 MAC アドレス」(p.38) をご覧ください。

RJ-45 モジュラージャック
ネットワークケーブルを接続するコネクタです。使用するネットワークケーブルについては「2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続」(p.8) をご覧ください。

PCI バスコネクター
本製品とコンピュータのインタフェースとなるコネクタです。この部分は素手で触らないようにしてください。

Wake on LANコネクター
Wake on LAN® 機能を使用するとき、本製品に付属の WOL ケーブルでコンピュータと接続します。Wake on LAN® 機能を使用しないときは、接続する必要はありません。

1.3.2 動作表示 LED

本製品には動作状態を表示する 3 個の LED (ランプ) が装備されています。各 LED の名称と働きは以下の通りです。

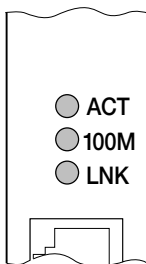


図 1.3.2.1 動作表示 LED

(上から)

ACT (緑)

本製品がパケットを送受信すると点灯します。

100M (緑)

100Mbps で通信が行われているときに点灯します。

LNK (緑)

本製品と接続先装置 (ハブやスイッチなど) との間でリンクが成立すると点灯します。

1.4 ドライバーディスク

本製品には、次のドライバーディスクが付属しています。

- ・ AT 互換機 / NEC PC98-NX 用

必ず、ドライバーディスクに含まれる「README」ファイルをお読みください。「README」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。

2 ハードウェアの設定

本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を説明します。この手順を実行することにより、ネットワーク環境を提供するドライバソフトウェアをインストールする準備が整います。

Windows95 をご使用の場合は「4 Windows95」(p.19) を先にお読みください。



本製品を Windows95 上でご使用になる場合はハードウェアの設定の前にドライバをインストールしますので、本章の前に第4章を先にお読みください。

2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し

以下に示す手順に従い、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けてください。

コンピュータ本体のカバーの取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用になるコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1.1 コンピュータへの取り付け

- (1) コンピュータ上で動作しているソフトウェアを全て終了し、本体の電源をオフにしてください。
- (2) 必ずコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

- (3) コンピュータの本体カバーを外してください。
- (4) スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。
- (5) バス・マスタ用の空きスロットを確認します。バス・マスタスロットの位置は、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。
- (6) 本製品を拡張スロット(バス・マスタ用)にしっかりと奥まで挿し込んでください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCI バスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (7) Wake on LAN[®] 機能を使用するときは、Wake on LAN[®] コネクタに本製品付属の WOL ケーブルを接続します。Wake on LAN[®] の接続方法については、「A.4 Wake on LAN[®]」(p.39) を参照してください。
- (8) (4) で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。
- (9) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

ネットワーク接続に必要なハードウェア設定 (DMA、IRQ、I/Oアドレスなど) は、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けただけで自動的に行われます。



本製品と、Plug&Play に対応していない ISA 仕様の他の拡張アダプター (ボード) を併用する場合、ISA Configuration Utility (ICU) を使用して、ISA 仕様の拡張アダプターのための設定をコンピュータに施しておく必要があります。ISA Configuration Utility に関しては、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1.2 コンピュータからの取り外し

- (1) コンピュータへの取り付け手順の(1)~(3)と同様に、コンピュータの本体カバーを外します。
- (2) 本製品を固定しているねじを外します。
- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜いてください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCI バスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (4) スロットカバーを元どりに取り付けてください。
- (5) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

2.2 イーサネットへの接続

次に、本製品をイーサネットに接続します。この作業はネットワーク環境を提供するソフトウェアパッケージをインストールする前に行います。



ただし、Windows95 の場合は例外としてドライバをインストールしたあとでハードウェアの設定(ボードの拡張スロットへの取り付けから)を行います。詳細は「4 Windows95」(p.19) をご覧ください。

2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

- (1) ご使用の環境に合ったネットワークケーブル(ツイストペアケーブル)を用意します。詳細は以下をご覧ください。
 - 100BASE-TX用
必ずカテゴリ-5 のケーブルをご使用ください。カテゴリ-5 以外のケーブルを使用した場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発生する」、「通信できない」などの障害が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリ-は、外見では識別できないので、何種類ものカテゴリ-のケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。
 - 10BASE-T用
カテゴリ-5、4、3のケーブルを使用することができます。
- (2) ネットワークケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品の RJ-45 モジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込んでください(両端のプラグのどちらでも構いません)。
- (3) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (4) ネットワークケーブルのもう一端のモジュラープラグを接続先装置(ハブやスイッチなど)のコネクター(UTP) に挿し込んでください。手順は、上記(2)と同様です。



ネットワークケーブルの外し方

UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押さえながら手前に引くと、抜くことができます。

2.2.2 リンクの確認

最後に、接続先装置(ハブやスイッチなど)とコンピュータの両方の電源をオンにし、本製品の LINK (LNK) LED と接続先装置の LINK OK LED の両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。



"LINK OK" LED の名称は接続先装置の機種により異なります。また、"LINK OK" LED を持たない機種もありますので詳細は接続先装置のマニュアルでご確認ください。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品と接続先装置は正しくリンクしていません。その場合はご使用のネットワークケーブルがしっかり接続されていない、または断線している、あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられます。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、接続先装置のポートを入れ替えてみるなどの対策を行ってください。

3 Windows 98

本製品のドライバーをWindows98上にインストールする手順を説明します。



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

3.1 ドライバーのインストール

3.1.1 用意するもの

- ・ LA100-PCI-T Z1 本体 ・ UTP ケーブルなど
- ・ コンピュータ (Windows98 インストール済み)
- ・ LA100-PCI-T Z1 ドライバーディスク (本製品に付属)
- ・ Windows98 の CD-ROM
プリインストール版 Windows98 をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますので CD-ROM は必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。



Windows98 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」(p.41)をご覧ください。

3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。

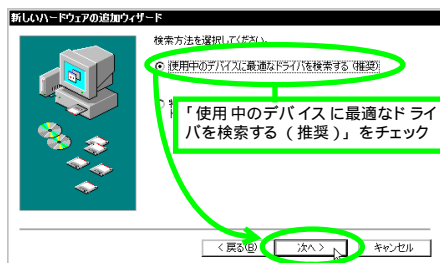
手順 1 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 98 を起動してください。

手順 2 Windows98 は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。



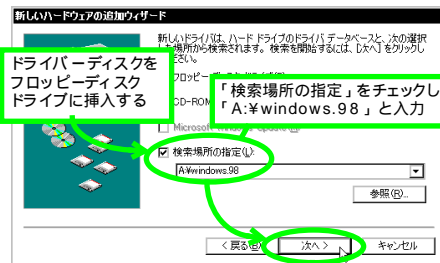
「次へ」ボタンをクリック

手順 3 検索方法を選択します。



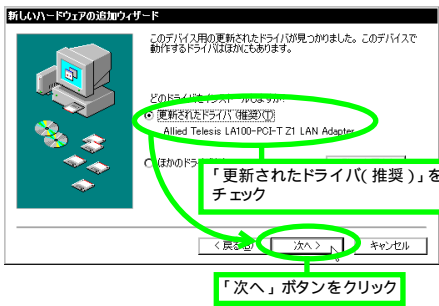
「次へ」ボタンをクリック

手順 4 検索場所を指定します。

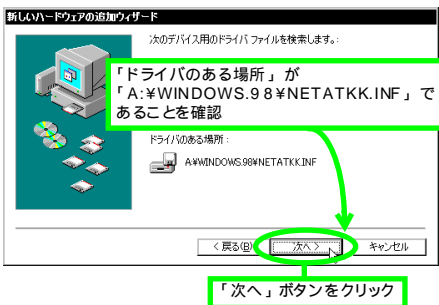


「次へ」ボタンをクリック

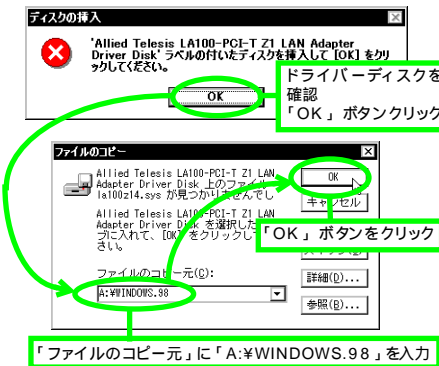
手順 5 インストールするドライバーを選択します。



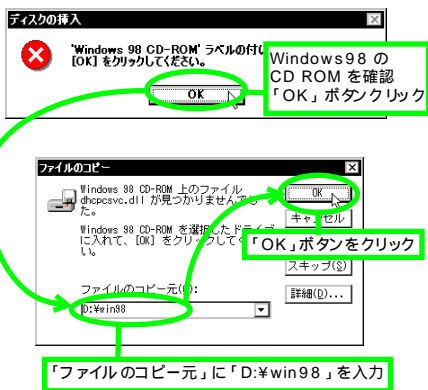
手順 6 ドライバファイルを検索します。



手順 7 本製品のドライバーディスクが要求された場合。

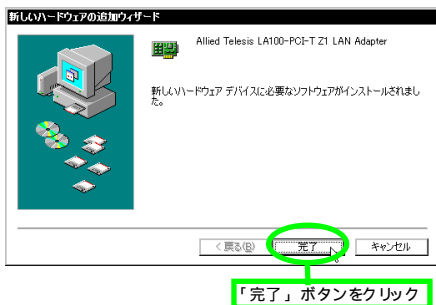


手順 8 Windows98 の CD-ROM が要求された場合。

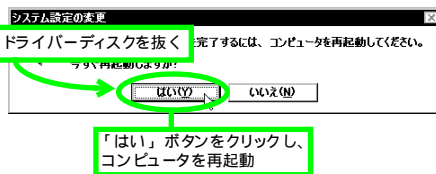


ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」を入力してください。

手順 9 インストールは完了です。



手順 10 コンピュータを再起動します。



手順 11 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.12) に進みください。



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。DHCP サーバを使用していない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。また、DHCP サーバを使用している場合（例えば、ケーブルテレビを使用し

たインターネット接続等)は、「はい」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご利用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

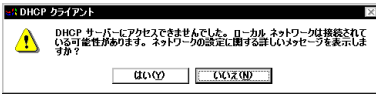


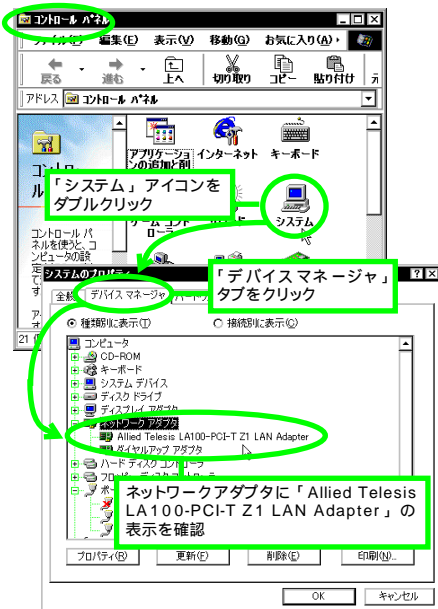
図 3.1.2.1 DHCP メッセージ

3.2 インストールの確認とアダプターの設定

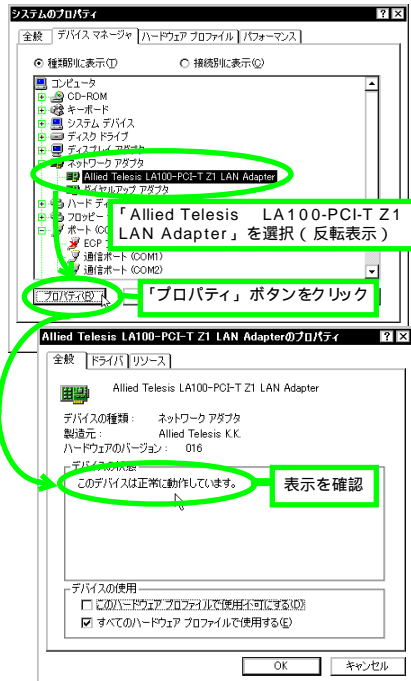
はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

手順 1 デバイスマネージャで、「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」が正しく表示されるのを確認します。

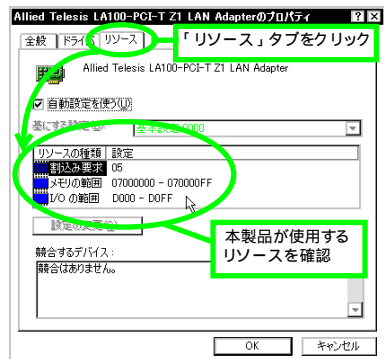


手順 2 「デバイスの状態」を確認します。



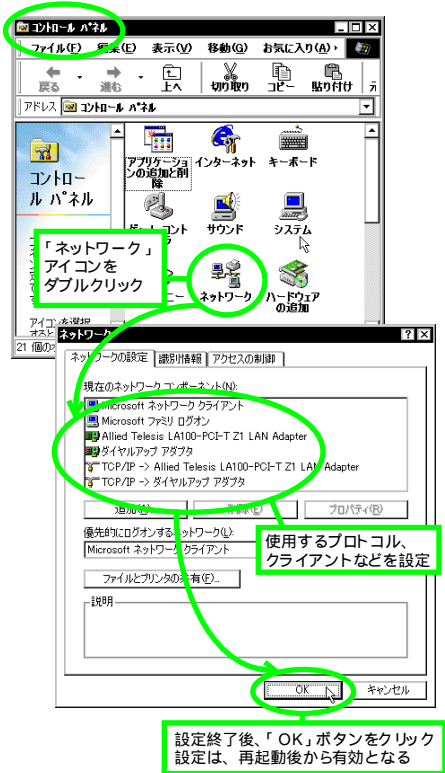
手順 3 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などを確認します。

I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows98 によって自動的に設定されます。



3.2.2 ネットワークの設定

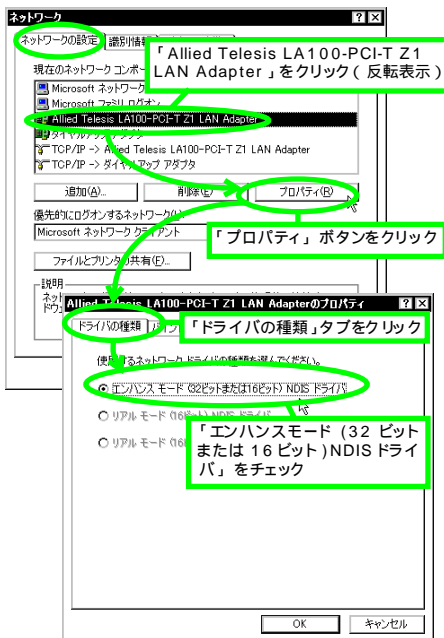
使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。設定は、コンピュータの再起動後から有効になります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。



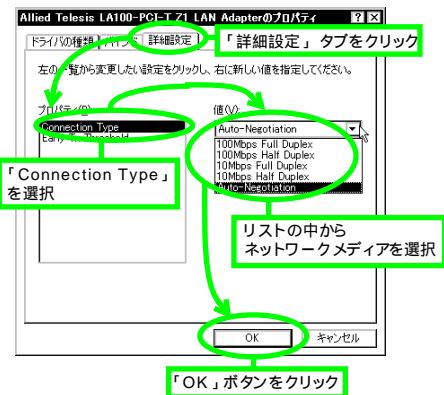
3.2.3 ドライバの設定

本製品に関する設定を行います。

手順1 ドライバの種類を選択します。



手順2 ネットワークメディア (ネットワークケーブルおよび通信モード) の設定をします。



通常は、デフォルトの「Auto-Negotiation」のままでお使いください。設定項目の詳細説明については、「6 ネットワークのトラブル」(p.37)の「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。また、Auto-Negotiation 設定で、「通信が遅い」「コリジョンが多発する」などの問題がある場合も、「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。接続先装置の通信速度やモードの設定などの詳細については、ネットワーク管理者にご確認ください。

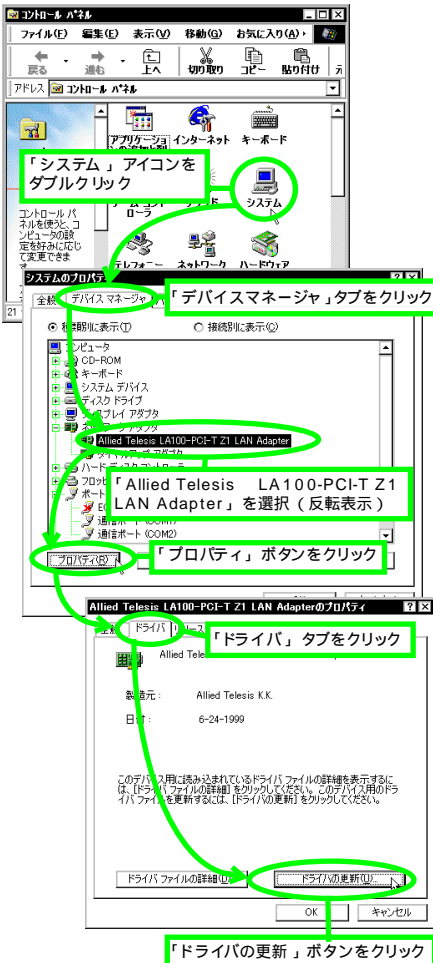
3.3 ドライバの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときに実行します。

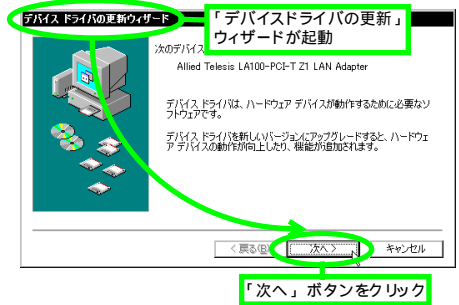
手順1 Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。

プリインストール版 Windows98 をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますのでCD-ROMは必要ありません。ただし、一度OSを削除し、再インストールしている場合は必要です。

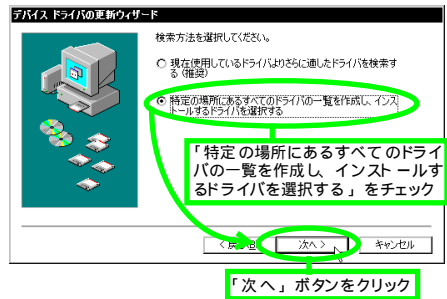
手順2 ドライバの更新を開始します。



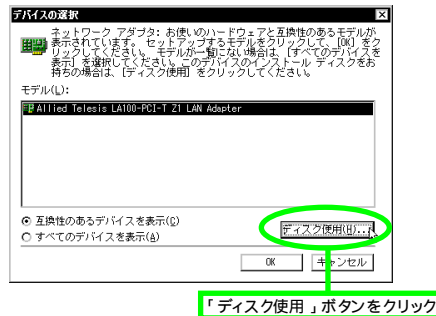
手順3 「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。



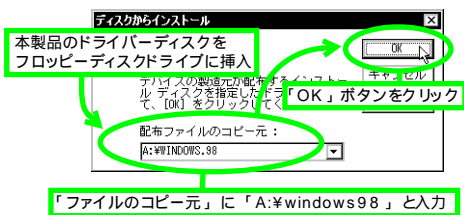
手順4 検索方法を選択します。



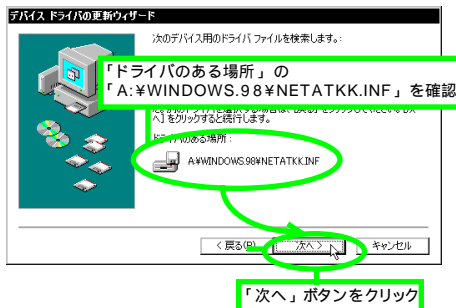
手順5 更新には、ドライバーディスクを使用します。



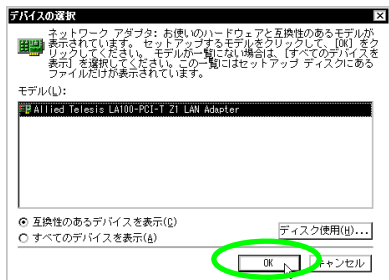
手順6 本製品のドライバーディスクのパスを指定します。



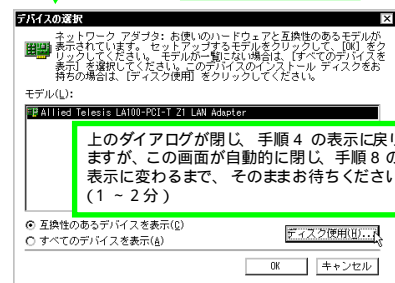
手順7 Windows98によってドライバーディスクが検索されます。



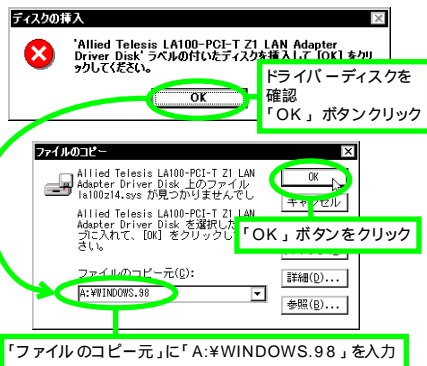
手順9 本製品のドライバーディスクが要求された場合。



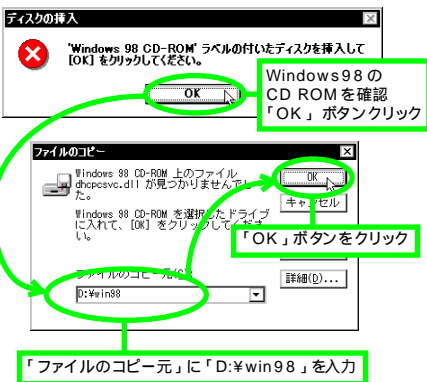
「OK」ボタンをクリック



手順8 ドライバーファイルが検索されます。



手順10 Windows98のマスターディスクが要求された場合。



ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。

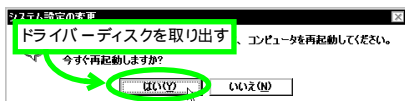
注意

手順 11 ドライバーの更新は完了です。



「完了」ボタンをクリック

手順 12 コンピュータを再起動します。



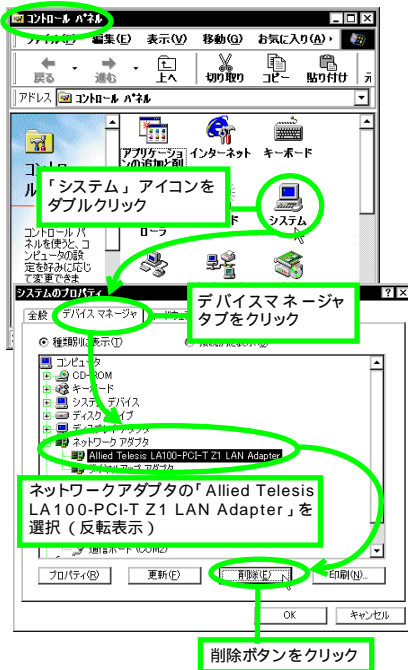
「はい」ボタンをクリックし、
コンピュータ再起動

手順 13 「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」(p.12) を実行してください。

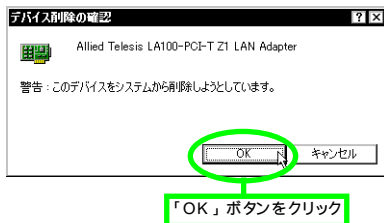
3.4 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならない、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

手順 1 デバイスマネージャから、本製品のドライバーを削除します。

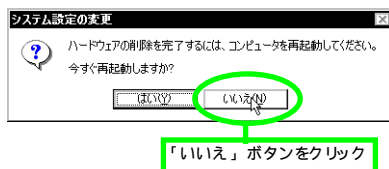


手順 2 削除するデバイスを確認します。



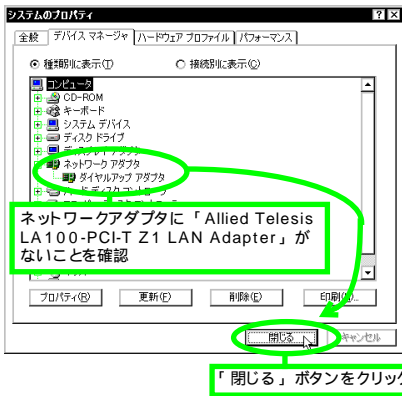
「OK」ボタンをクリック

手順 3 コンピュータの再起動は、まだしないでください。



「いいえ」ボタンをクリック

手順 4 デバイスマネージャで、本製品のアイコンが消えていることを確認します。



手順5 Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、拡張スロットから本製品を取り外してください。

次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

3.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「3.1 ドライバーのインストール」(p.10)の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例とその対処法について説明します。

3.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.12)にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている



この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。
・ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの

Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまつた。

- ・「3.3ドライバーの更新」(p.14)の手順9(la100z14.sysの要求)において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「3.4 ドライバーの削除」(p.16)の手順(2)以降を実行してください。
- (3) 「3.1 ドライバーのインストール」(p.10)の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

アイコンに「x」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します(「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.12)の手順2参照)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

3.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーインストール時の検索場所の指定(「3.1.2 新規インストール」の手順4)で本製品に付属のフロッピーディスクではなく、CD-ROMを指定してしまった場合、「PCI Ethernet Controller」のドライバーが組み込まれます。

不適切なドライバーがインストールされたときは、次の手順で正しいドライバーをインストールし直します。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」(p.16)の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは誤ってインストールされたドライバーです。
- (2) 「3.1 ドライバーのインストール」(p.10)の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI や ISA の設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」 パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4 Windows 95

本製品のドライバーをWindows95上にインストールする手順を説明します。



ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、Windows 95 Version C の表示を例として使用しています。

4.1 インストールの前に

4.1.1 Windows95 でのインストール手順



本製品を Windows95 でご使用いただく場合、付属のインストーラの仕様により、拡張スロットに本製品を取り付ける前に、ドライバーをインストールします。この点は、他のドライバーのインストールと異なるのでご注意ください。

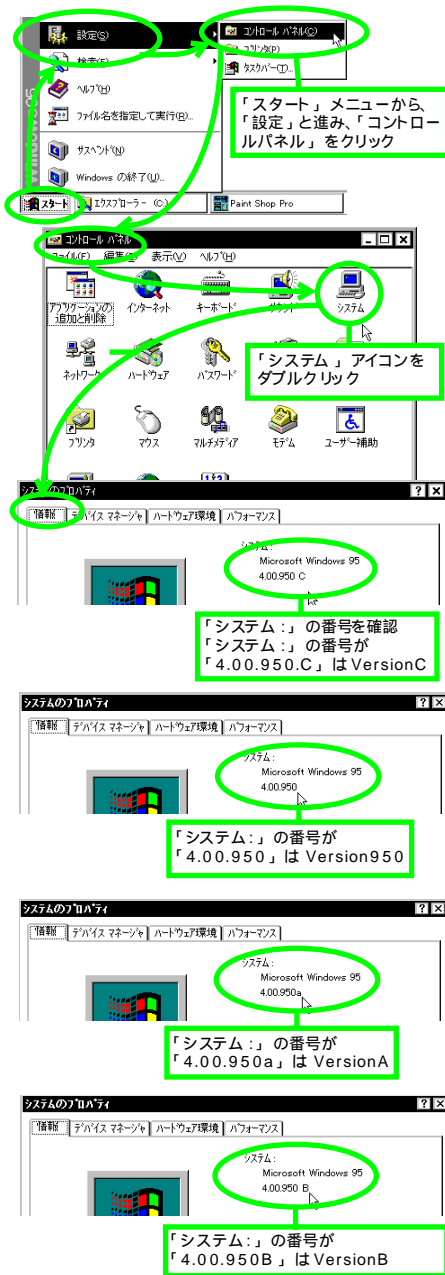
本製品用ドライバーをインストールする手順は以下の通りです。具体的な手順は次ページ以降をご覧ください。

- 1 本製品付属のドライバーディスクから、ドライバーをインストールします。
インストールには専用のインストーラ (Inst95.bat) を使用します。
- 2 コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの拡張スロットへ取り付けます。(「2 ハードウェアの設定」参照)
- 3 コンピュータの電源を再びオンにし、Windows 95 に本製品を認識させます。
再起動後、必要に応じてネットワークに関する設定を行います。

4.1.2 Windows95 のバージョンの確認

Windows95 には、Version950、VersionA、VersionB、VersionC の4種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製品のドライバー・インストール時に表示されるメッセージが異なります。まず、ご使用の Windows95 のバージョンを確認し、「4.2 ドライバーのインストール」(p.20)に進んでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。
- (2) システムの番号を確認します。



4.2 ドライバーのインストール

4.2.1 用意するもの

- ・ LA100-PCI-T Z1 本体・UTP ケーブルなど
- ・ コンピュータ (Windows95 インストール済み)
- ・ LA100-PCI-T Z1 ドライバーディスク (本製品に付属)
- ・ Windows95 の CD-ROM またはフロッピーディスク
プリインストール版 Windows95 をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますのでマスターディスクは必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。



注意

Windows95 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」(p.41) をご覧ください。



注意

まだボードをスロットに取り付けねてください。本製品のスロットへの取り付けは必ずドライバーをインストールした後で行います。誤ってドライバーがインストールされている状態で本製品をスロットに取り付けた場合、Windows95 は起動時に不適切なドライバーを自動的に (Plug&Play 機能により) 組み込んでしまう可能性があり、この場合本製品は正常に動作しません。Plug&Play により不適切なドライバーを組み込んでしまった場合は、「4.6 ドライバーのトラブル」(p.27) を参照して正しいドライバーをインストールし直してください。

不適切なドライバーが組み込まれた場合、Windows95 はデバイスマネージャ (コントロールパネル) でアイコンに「？」マークをつけてエラーを知らせます。詳細は「4.6 ドライバーのトラブル」(p.27) をご覧ください。

4.2.2 新規インストール

それでは、インストールを始めます。この段階では、まだ本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けねてください。ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。



通常、Windows95 は Realtek イーサネットコントローラチップを搭載した LAN アダプター (本製品を含む) に対して、

Windows95 の供給メディア (フロッピーディスクまたは CD-ROM) に標準で搭載されている汎用のドライバーを一樣に自動的に組み込みます。本製品はこの汎用ドライバーではなく、専用のドライバーでのみ動作する仕様となっているため、インストールは Windows95 に予め「専用ドライバーを使用する」ことを教え、誤って汎用ドライバーを組み込むことを防止してします。

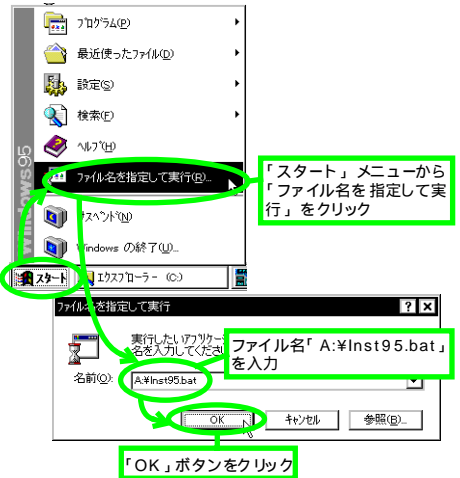
4.2.2.1 インストーラによるドライバーの組み込み

手順 1 コンピュータの電源を入れ、Windows95 を起動します。

手順 2 ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、インストーラ "Inst95.bat" を起動します。

起動の方法には次のようなものがあります。

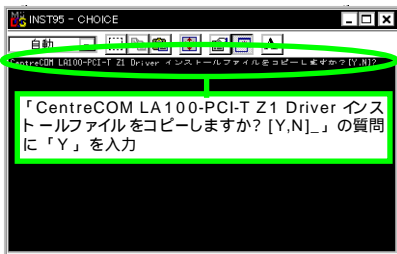
「ファイル名を指定して実行 (R)」する



"Inst95.bat" アイコンをダブルクリックする



手順 3 インストーラが起動し、MS-DOS プロンプトの画面が表示されます。



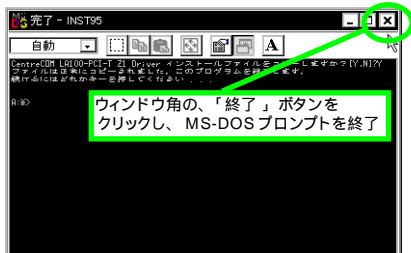
手順 4 ドライバーおよび関連ファイルがハードディスクにコピーされます。

完了すると以下のようなメッセージが表示されます。どれかキーを押してください。

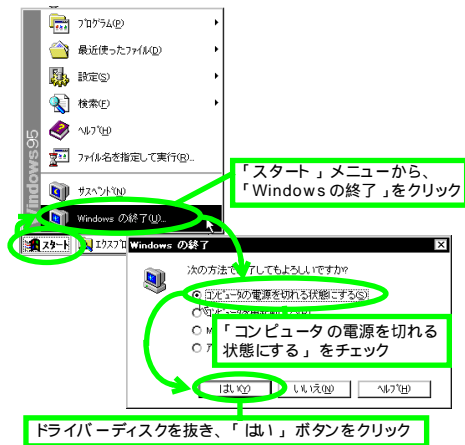
ファイルは正常にコピーされました。このプログラムを終了します。

続けるにはどれかキーを押してください...

手順 5 MS-DOS プロンプトを終了します。



手順 6 本製品を拡張スロットに装着するため、コンピュータの電源をオフにします。



手順 7 本マニュアル第 2 章へ戻り、ハードウェアの設定を行います。

設定の内容は以下の通りです。

拡張スロットへ本製品を取り付ける

本製品をネットワークに接続する

手順 8 ハードウェアの設定が終了したら、引き続き、「4.2.2.2 Windows95 ファイルのコピー（再起動後）」へお進みください。

4.2.2.2 Windows95 ファイルのコピー（再起動後）

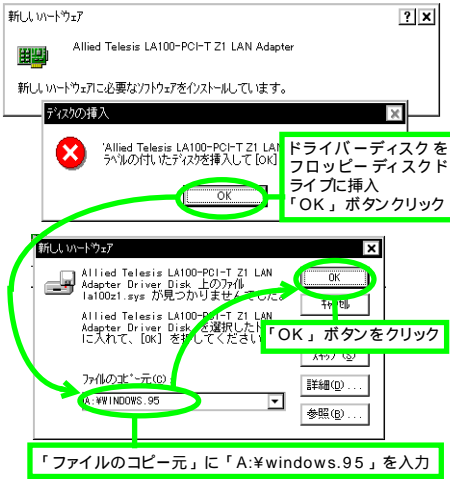
手順 1 ハードウェアの設定が完了したら、再びコンピュータの電源をオンにします。

Windows95 は Plug&Play 機能により、本製品を「PCI Ethernet Controller」および「LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」として検出します。

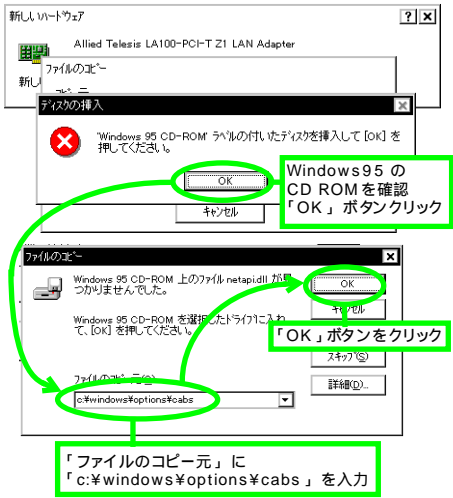


ご使用のコンピュータに初めて LAN アダプターをインストールする場合は、ここでコンピュータをネットワーク上で識別するための情報（コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明）の入力を促すダイアログが表示されます。詳細はシステム管理者にご確認ください。なお、このダイアログの内容をインストール終了後に変更するには、「ネットワーク」（コントロールパネル）をダブルクリックし、「ユーザー情報」タブを選択してください。

手順 2 本製品のドライバーディスク 要求のダイアログが表示された場合。



手順3 Windows95のマスターディスクが要求された場合。



ファイルのコピー元には、ご使用のWindows95の形態に合わせて、次のようにパスを入力します。

ブリンストール版 Windows95 の場合
 この場合は Windows95 ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cabs」を指定してください。（ここでは Windows95 の起動ディスクを C: と仮定します。）



機種によっては¥windows¥options¥cabsと異なる場所に保存されていることもあります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧ください。検索コマンドにお名前「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパスを指定してください。

CD-ROM の場合

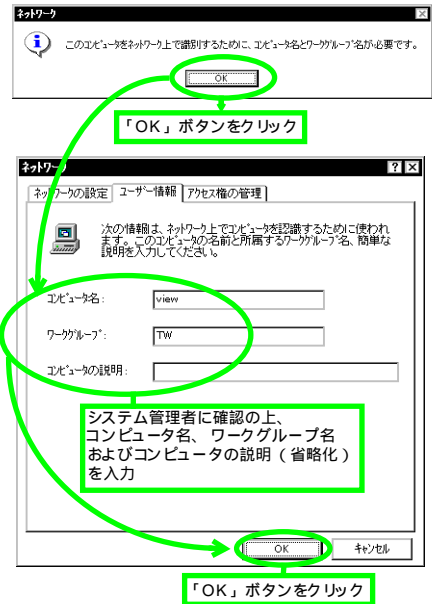
CD-ROM をドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN95」を入力してください。（ここでは、CD-ROM ドライブを D: と仮定します。）

フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元」で「A:¥」を入力してください。（ここではフロッピーディスクドライブを A: と仮定します。）

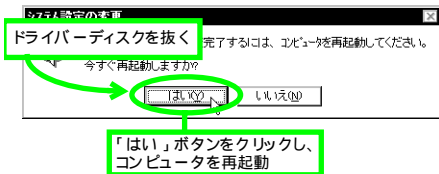
手順4 「ネットワーク設定要求」ダイアログが表示された場合
 （ご使用のコンピュータではじめてネットワークアダプターをインストールする場合）

詳細は、システム管理者に確認してください。



コンピュータ名およびワークグループ名の入力には 15 字以下の半角文字を使用します。詳細は Windows95 のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」 「ネットワーク」をダブルクリックし、「ユーザー情報」タブを選択してください。

手順5 コンピュータを再起動します。



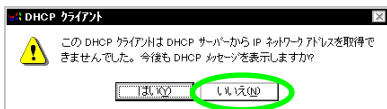
ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバー（ダイヤルアップアダプタ等）がインストールされている場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

手順6 ドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」に進みください。



注意

インストール後の再起動時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。



「いいえ」ボタンをクリック

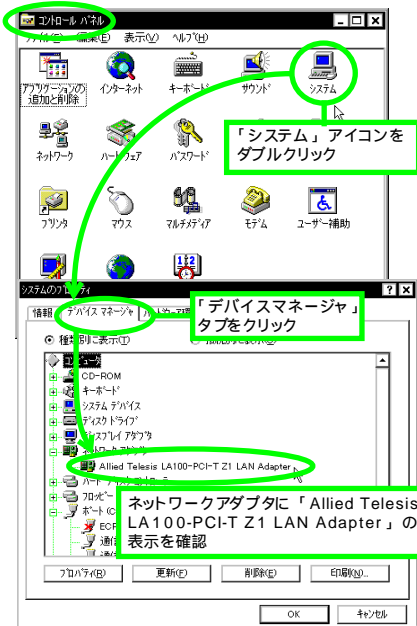
図 4.2.2.3 DHCPメッセージ

4.3 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

手順1 デバイスマネージャで、「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」が表示されることを確認します。

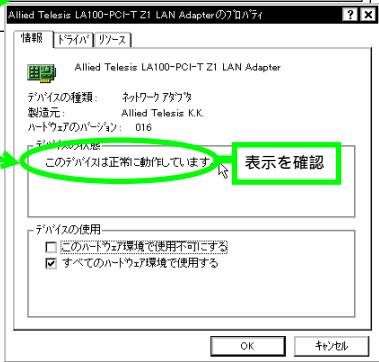
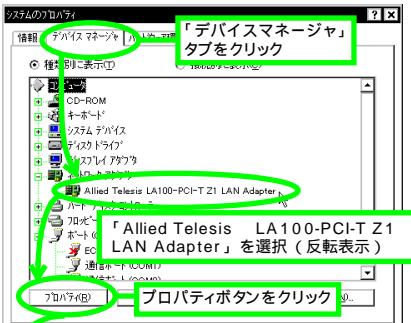


Windows95 Version 950/A では「OK」は「閉じる」となります。



これらのアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「4.6ドライバーのトラブル」(p.27)をご覧ください。

手順2 このデバイスが正常に動作していることを確認します。



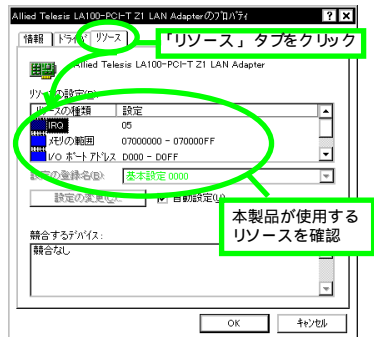
VersionA では、次のような表示になります。



図 4.3.1.1 「ドライバ」タブ (Version B/C)

手順 3 本製品が使用するリソースを確認します。

I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows95 によって自動的に設定されます。(情報が表示されるまで、時間がかかります)

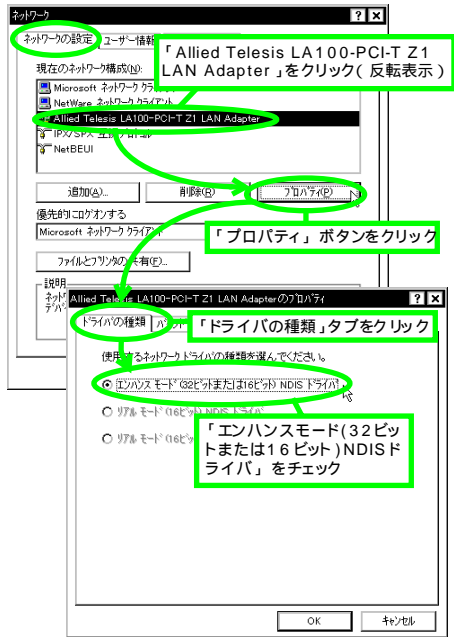
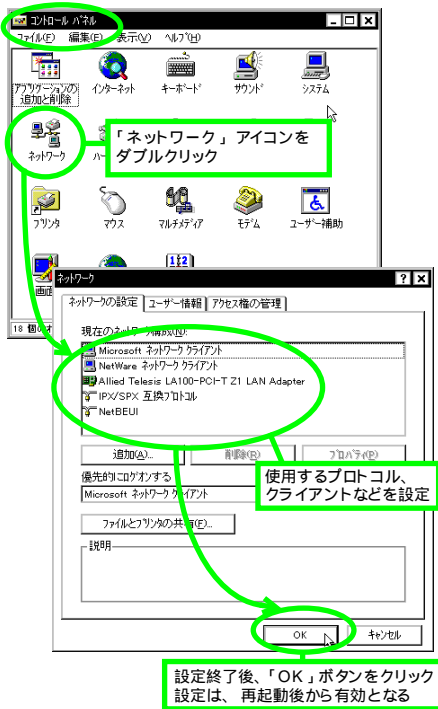


4.3.2 ネットワークの設定

使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。設定内容は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。



Windows95 VersionBまたはCをご使用の場合、「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、下のよう
に「このデバイスには、ドライバファイルは必要でないか、または組み込まれていません。」と表示されますが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありませんので安心してご使用ください。



手順 2 ネットワークメディア（ネットワークケーブルおよび通信モード）の設定を行います。

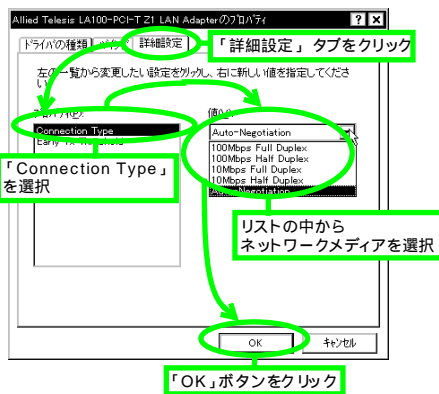


上の図は Windows95 VersionB および C のものです。Version950 および A の場合は「アクセス権の管理」タブはおまかせ。

4.3.3 ドライバの設定

本製品に関する設定を行います。

手順 1 ドライバの種類を選択します。



通常は、デフォルトの「Auto-Negotiation」のままでお使いください。設定項目の詳細説明については、「6 ネットワークのトラブル」(p.37)の「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。また、Auto-Negotiation 設定で、「通信が遅い」「コリジョンが多発する」などの問題がある場合も、「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。

接続先装置の通信速度やモードの設定などの詳細については、ネットワーク管理者にご確認ください。

4.4 ドライバーの削除

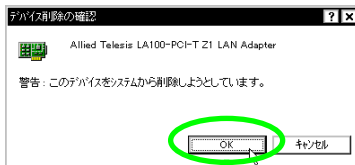
ドライバーのバージョンアップの場合など、ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順をならい、間違っインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。(「4.6 ドライバーのトラブル」(p.27) もご覧ください。)

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

手順1 デバイスマネージャからドライバーを削除します。

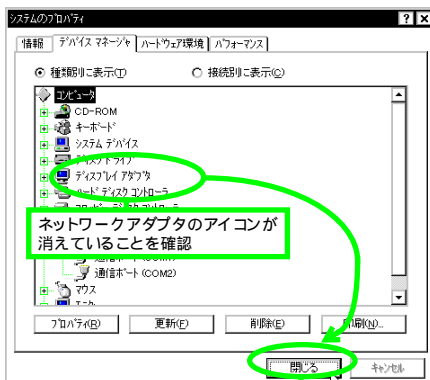


手順2 「デバイス削除の確認」をします。



「OK」ボタンをクリック

手順3 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることを確認します。



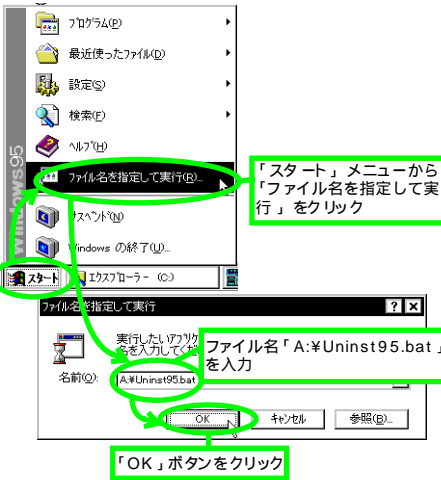
ここで、「コンピュータを再起動するか」を尋ねられた場合、「はい/いいえ」を選択し、そのまま手順(4)にお進みください。

注意

手順4 本製品専用のアンインストーラを起動します。

ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下の方法のいずれかを実行して起動してください。

「ファイル名を指定して実行(R)」する



「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」をクリック

ファイル名「A:\Uninst95.bat」を入力

「OK」ボタンをクリック

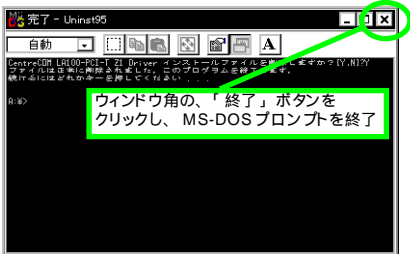
「Uninst95.bat」アイコンをダブルクリックする。



「マイコンピュータ」で、「3.5 インチ FD (A:)」をダブルクリック

「Uninst95」アイコンをダブルクリック

手順 5 アンインストーラが終了したら、MS-DOS プロンプトウィンドウを閉じます。



ウィンドウ角の、「終了」ボタンをクリックし、MS-DOS プロンプトを終了

手順 6 以上でドライバーの削除の手続きは終了です。コンピュータの電源をオフにし、本製品を拡張スロットから取り外してください。(詳細は「2 ハードウェアの設定」(p.8)をご覧ください。)

4.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「4.4 ドライバーの削除」(p.26)の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「4.2.2 新規インストール」(p.20)の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

4.6.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.23)にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」アイコンの表示が以下になっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている



この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。
 ・ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などの Windows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。

- ・「4.2.2.2 Windows95ファイルのコピー(再起動後)」(p.21)の手順 2 (la100z1.sysの要求)において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある



「?」マークがアイコンについている場合、本製品付属のインストーラを実行する前に本製品を拡張スロットに装着し、Windows95を起動した可能性があります。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCI-T Z1 LAN Adapter」アイコンを選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。

- (2) 「4.4 ドライバーの削除」(p.26) の手順 (2) 以降を実行してください。
- (3) 「4.2.2 新規インストール」(p.20) の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

アイコンに「x」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 本製品のプロパティを表示します。

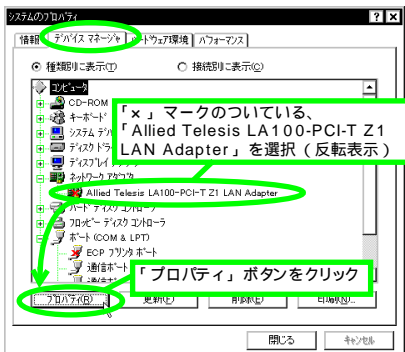
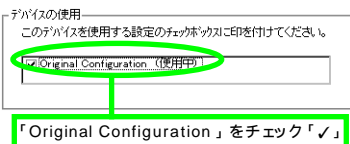


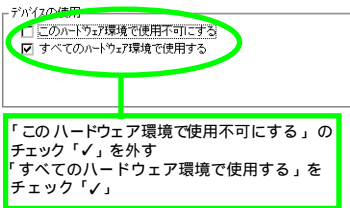
図 4.6.2.1 デバイスの使用不可の表示

- (2) デバイスを使用許可に切り替えます。

Version 950 または A の場合



Version B または C の場合



4.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーがインストールされていない状態で、誤って本製品をスロットに取り付けた場合、Plug & Play により「PCI Ethernet Controller」のドライバーが組み込まれます。



図 4.6.3.1 違うドライバーがインストールされた表示例

この場合、次の手順で正しいドライバーをインストールし直します。

- (1) 「4.4 ドライバーの削除」(p.26) の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは上記の Plug & Play によりインストールされたドライバーです。
- (2) 「4.2.2.1 インストーラによるドライバーの組み込み」(p.20) の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI や ISA の設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細

は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「リソースの予約」をします。

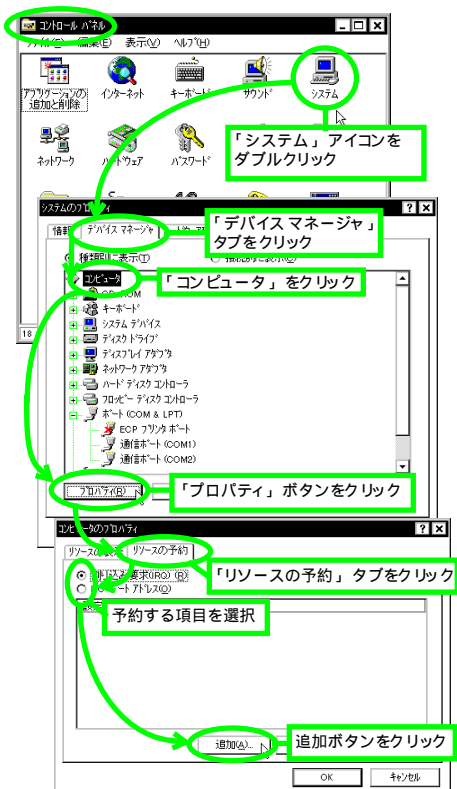


図 4.6.4.1 リソースの確認

(3) 画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5 Windows NT Ver. 4.0

本製品のドライバーを Windows NT Ver. 4.0 上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ・ ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされておらずこれからインストールします。
- ・ Windows NT Ver. 4.0 Workstation を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えます。

5.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



注意

Windows NT のハードウェア互換性リスト(Windows NT パッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

PC98-NX にインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NEC によって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意

本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。

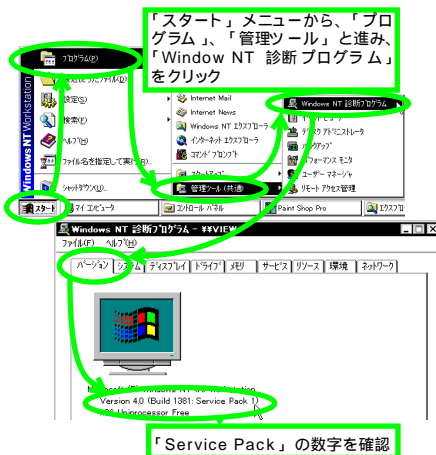


注意

本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと、Windows NT のインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

サービスパックについて

本製品のドライバーをインストールする前に、Windows NT のサービスパックがインストールされているかを確認してください。確認の手順は、次の通りです。



表示が「Service Pack 2」以上であれば、サービスパックがインストールされています。その場合には、ドライバーのインストール後、コンピュータを起動する前に必ずサービスパックの再インストールを行ってください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、Windows NT が起動できなくなることがあります。

5.2 ドライバーのインストール

5.2.1 用意するもの

- ・ LA100-PCI-T Z1 アダプター本体、UTP ケーブルなど
- ・ コンピュータ (Windows NT 4.0 インストール済み)
- ・ Windows NT の CD-ROM
- ・ LA100-PCI-T Z1 ドライバーディスク (本製品に付属)
- ・ Windows NT サービスパック (サービスパックをインストールしている場合のみ)

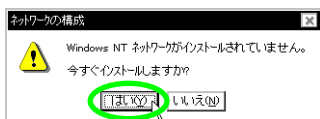
ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」(p.41) をご覧ください。

5.2.2 新規インストール

手順 1 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



手順2 インストールを開始します。

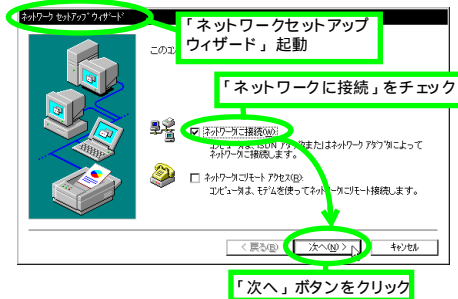


「はい」ボタンをクリックし、インストール開始

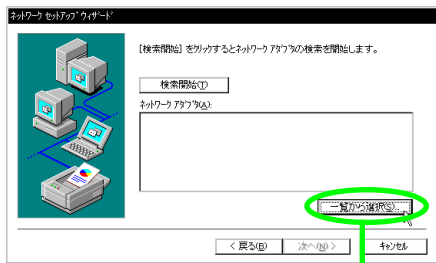


「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ 「追加」と進むと、手順5の「ネットワークアダプタの選択」が表示され、本製品のみインストールが始まります。

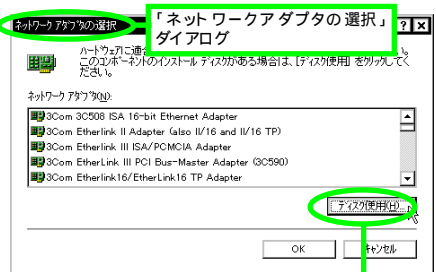
手順3 「ネットワークセットアップウィザード」が起動します。



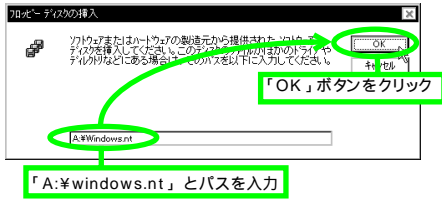
手順4 ネットワークアダプタを一覧から検索します。



手順5 ネットワークアダプタの選択に、ディスクを使用します。



手順6 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



手順 7 選択するドライバーを確認します。

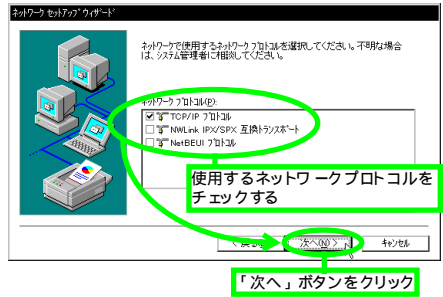


手順 8 ドライバーファイルの検索を開始します。



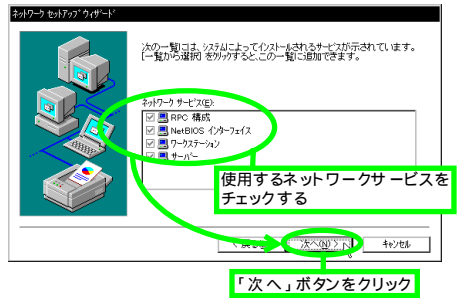
手順 9 使用するネットワークプロトコルを設定します。
(「TCP/IP プロトコル」のみを使用すると仮定した場合)

使用するネットワークプロトコルの詳細は、システム管理者にご確認ください。お使いの環境にあった設定をしてください。

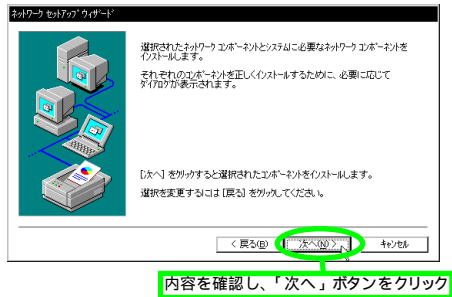


手順 10 使用するネットワークサービスを設定します。

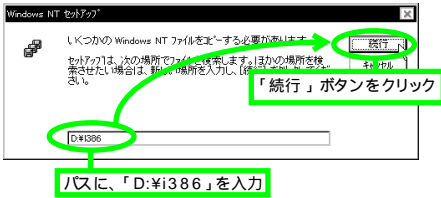
お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。



手順 11 インストールの開始を確認します。



手順 12 Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入します。

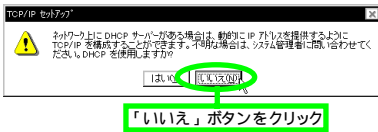


手順 13 本製品の設定ダイアログが表示されます。

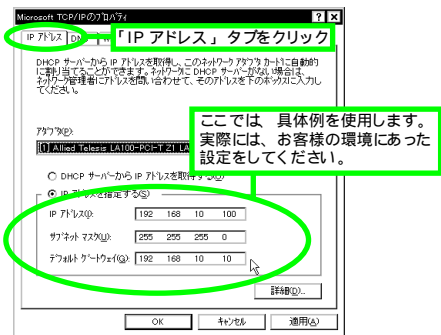


手順 14 手順 9 で「TCP/IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCP を使用するか？」を質問されます。

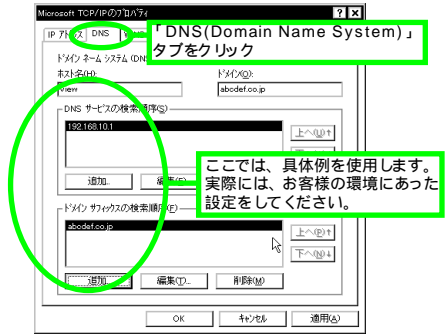
ここでは、「DHCP を使用しない」（デフォルト設定）と仮定します。



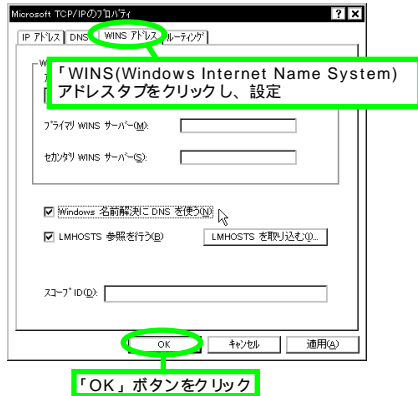
手順 15 手順 14 で「いいえ」ボタンを選択した場合は「TCP/IP のプロパティ」として IP アドレスなどの値を設定します。



「DNS (Domain Name System)」を使用する場合は、次の設定を行います。



続いて、「WINS (Windows Internet Name Service)」を使用する場合は、「WINS アドレス」の設定を行います。ここでは、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定しました。



必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」ボタンをクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。



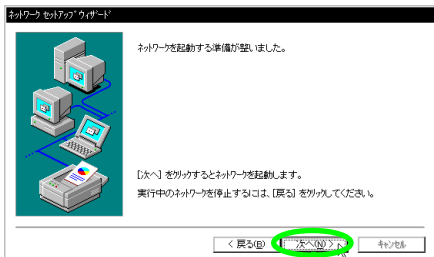
Windows NT Server をご使用の場合は「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーの詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

手順 16 バインドを確認します。



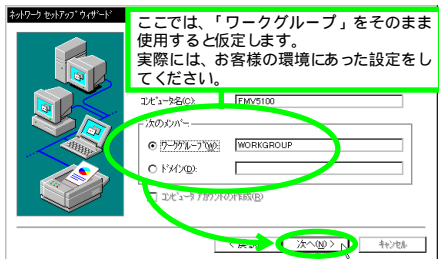
「次へ」ボタンをクリック

手順 17 ネットワークを起動します。



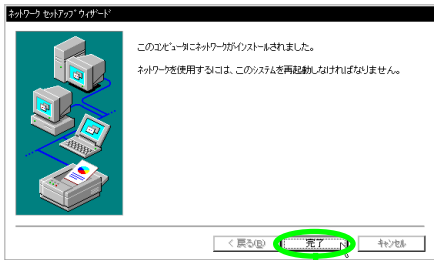
「次へ」ボタンをクリック

手順 18 ワークグループ、ドメインを設定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



「次へ」ボタンをクリック

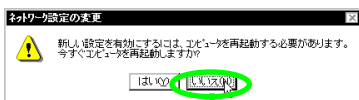
手順 19 インストールの完了です。



「完了」ボタンをクリック

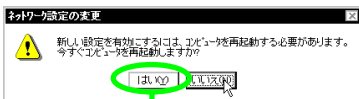
手順 20 Windows NT サービスパックをインストールしているかどうかで、次の手順が異なります。

サービスパックをインストールしている場合



「はい」ボタンをクリック
サービスパックをインストールした後、再起動

サービスパックをインストールしていない場合



「はい」ボタンをクリックし、コンピュータ再起動



警告

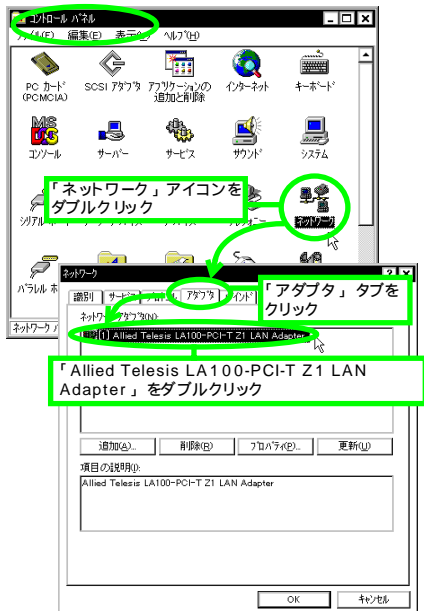
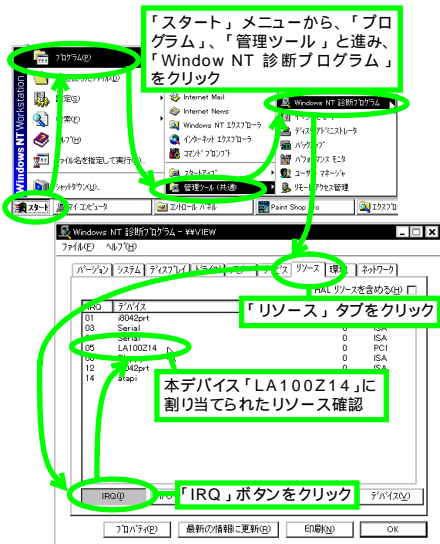
重要 本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていた Windows NT の最新のファイルが、CD-ROM の古いバージョンのファイルによって上書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、Windows NT が起動できなくなることがあります。

5.3 インストールの確認とアダプターの設定

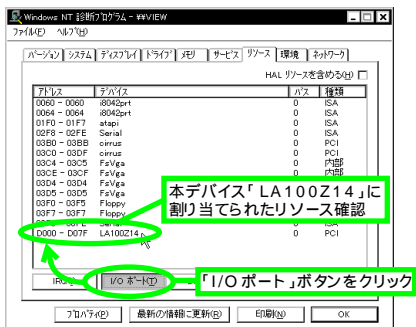
5.3.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース (I/O アドレス、インタラプ) が割り当てられます。これらの値は PCI ローカルバス仕様により、コンピュータによって自動的に設定され、管理されます。割り当てられた値を確認するには Windows NT 診断プログラムをご使用ください。手順は次の通りです。

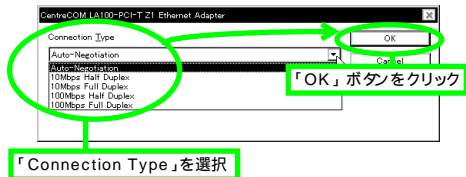
手順 1 リソース (IRQ) を確認します。



手順 2 リソース (I/O ポート) を確認します。



手順 2 本製品の設定ダイアログが表示されます。



コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の 2 つを用いて確認を行ってください。

通常は、デフォルトの「Auto-Negotiation」のままでお使いください。設定項目の詳細説明については、「6 ネットワークのトラブル」(p.37)の「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。また、Auto-Negotiation 設定で、「通信が遅い」「コリジョンが多発する」などの問題がある場合も、「通信速度およびモード設定の詳細」を参照してください。

接続先装置の通信速度やモードの設定などの詳細については、ネットワーク管理者にご確認ください。

5.3.2 ドライバーの設定

ネットワークメディア (ネットワークケーブルおよび通信モード) の設定を行います。

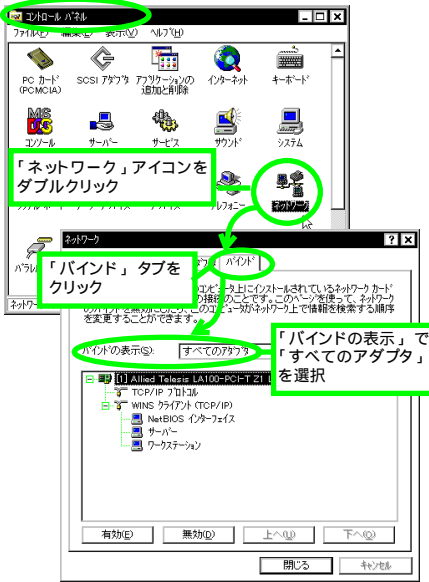
手順 1 「ネットワーク」の「アダプタ」タブを表示します。

5.4 本製品を使用しないとき

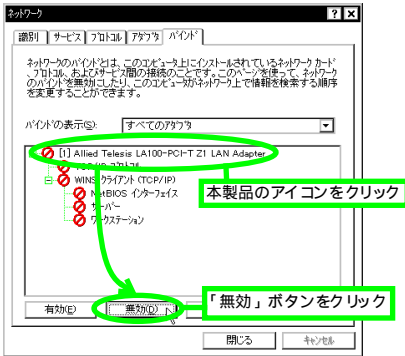
ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えば UTP ケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。

この現象はドライバーをアンロードする(バインドしない)ことによって回避できます。

手順1 「バインド」タブを表示します。



手順2 「バインドしない」設定をします。



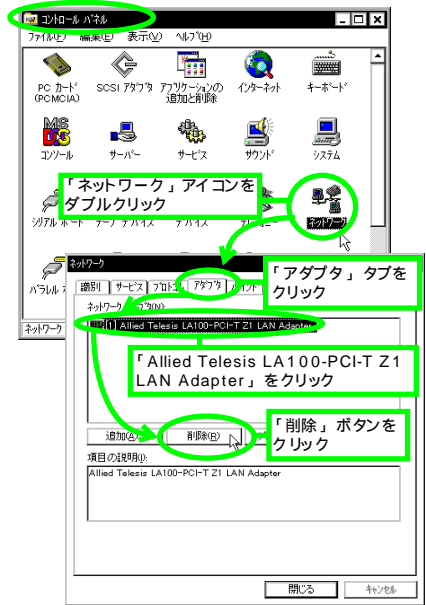
手順3 使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」ボタンをクリックします。

5.5 ドライバーの削除

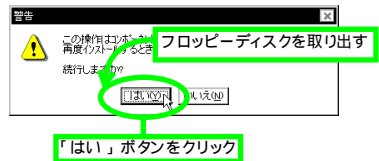
本製品の登録内容を削除する手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサー

ビスは削除されません(一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

手順1 ネットワークアダプタを削除します。



手順2 コンピュータを再起動します。



5.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「5.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブで「追加...」ボタンをクリックしてください。「5.2.2 新規インストール」(p.30)の手順5から再開することになります。

6 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

LINK LED は点灯していますか?

LINK LED は、接続先装置（ハブやスイッチなど）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LED は、本製品と接続先装置の両方に存在します。本製品と接続先装置の両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- 接続先装置の電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しい UTP ケーブルを使用しているか確認してください。本製品と接続先装置との接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- 接続先装置（ハブやスイッチなど）のポートの設定が正しいか確認してください。ハブ（またはスイッチ）の機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
- 接続先装置の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルに問題はありますか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくい（結線が良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試験してみてください。
- 接続先装置の通信速度を確認してください。この章の「通信速度およびモード設定の詳細」を参考にして、接続先装置に合った速度を選択してください。

LINK LED は点灯しているが ...

LINK LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 100m と規定されています。
- 正しい UTP ケーブルを使用していますか？ 100BASE-TX では「カテゴリ-5」、10BASE-T で「カテゴリ-3」以上の UTP ケーブルを使用しなければなりません。
- UTP ケーブルに問題はありますか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくい（結線が良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試験してみてください。

通信速度およびモード設定の詳細

本製品のドライバーで通信速度および通信モードを設定する場合は、次の設定項目の中から選択して設定します。各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

100Mbps Full Duplex
100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

100Mbps Half Duplex
100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

10Mbps Full Duplex
10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

10Mbps Half Duplex
10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

Auto-Negotiation（デフォルト）

Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

- 対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合
可能な最高の速度（10/100 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。
- 対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合
対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps の別）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、対向機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、前述の「100Mbps Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

Auto-negotiation 設定で、正常に接続できない場合は、次の対応表を参考にして、本製品および接続先装置の設定を変更してください。

		CentreCOM LA100-PCI-T Z1				
		10M Half	10M Full	100M Half	100M Full	オートネゴ
接続先	10M Half	○	—	—	—	○
	10M Full	—	○	—	—	—
	100M Half	—	—	○	—	○
	100M Full	—	—	—	○	—
	オートネゴ	○	—	○	—	○

A 付録

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

信号 : IEEE802.3u 100BASE-TX
IEEE802.3 10BASE-T
IEEE802.3u Auto-negotiation
IEEE802.3x FlowControl

2. 機械的仕様

PCI インターフェース: PCI ローカルバス仕様 Rev. 2.2 に準拠
外形 : 120 [mm] × 60 [mm]
(ブラケット部分を除く)
WOL ケーブル長 : 約 330 [mm] (コネクタ部も含む)
重量 : 約 65g

3. 電氣的仕様

動作電圧 : DC + 5.0V ± 5% (+5V, +5Vsb)
: DC + 12.0V ± 5% (+12V)
最大消費電流 : 280mA@5.0V (+5V)
: 440mA@5.0V (+5Vsb)
: 1mA@12.0V (+12V)

4. 環境条件

動作保証温度 : 0 ~ 55
保存温度 : -20 ~ 65
動作・保存湿度 : 95%以下 (但し、結露なきこと)

5. 電気雑音の発生防止

雑音端子電圧 : VCCI クラス B
雑音電界強度 : VCCI クラス B

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

6. ネットワーク機能

転送速度 : 10Mbps または 100Mbps
通信モード : 半二重または全二重

7. 使用するハードウェア資源

割り込み (IRQ) : 1 チャンネルを使用
I/O アドレス : 連続した 256 バイトを使用
メモリー : 連続した 256 バイトを使用



これらは、PCI ローカルバス仕様により自動的に設定されます。ボード上あるいはソフトウェアから設定する必要はありません。

A.2 10BASE-T/100BASE-TX インターフェース

10BASE-T/100BASE-TX インターフェース (MDI) は、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

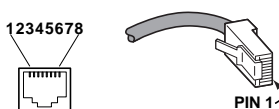


図 A.2.0.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

図 A.2.0.2 信号線名

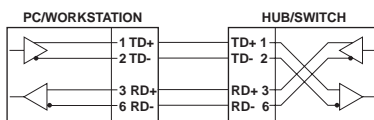


図 A.2.0.3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00 90 99 xx xx xx
ベンダーID 通し番号

- ベンダー ID
LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号。
- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、「13 ~ 15」から始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。



MACアドレス (マックアドレスと読みます) は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもああります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

A.4 Wake on LAN®

A.4.1 Wake on LAN® とは

コンピュータの電源をネットワーク上の他のコンピュータからオンできる機能です。
この方法により、コンピュータのある場所に行かなくてもコンピュータを起動することができます。また、コンピュータは消費電力のきわめて低い動作モードに入ることができ、必要なときのみ起動できるので、省電力にもつながります。
Wake on LAN® は、Remote Wake Up とも呼ばれます。

A.4.2 Wake on LAN® の必要条件

本製品を取り付けるコンピュータのマザーボード上に Wake on LAN® 用のコネクタがあり BIOS がウェイクアップイベントをサポートしている必要があります。また、起動させる側のコンピュータは、Magic packet (「A.4.4 Magic packet」参照) を送出できる環境が必要です。

A.4.3 Wake on LAN® コネクタへの接続



WOL ケーブルを接続するときは、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

- (1) コンピュータの電源プラグが電源コンセントから外れていることを確認します。
- (2) 本製品の Wake on LAN® コネクタに付属の WOL ケーブルを接続します。
- (3) ケーブルの片端をマザーボード上の Wake on LAN® 用コネクタに接続します。マザーボード上の Wake on LAN® 用コネクタの位置は、コンピュータにより異なります。



コンピュータによっては、BIOS または OS の設定を変更して、Wake on LAN® 機能を動作可能な状態にしなければならぬ場合があります。詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。



付属の WOL ケーブルは、お使いのコンピュータ機種によってはご使用になれない場合があります。

注意

A.4.4 Magic packet

本製品は、ネットワーク経由で送出された Magic packet と呼ばれる特定の情報パケットを受けとることにより、コンピュータの電源をオンにします。

Magic packet の概要

Magic Packet Mode が有効な状態でコンピュータが休眠状態になると、本製品のネットワークコントローラチップを除くシステム全体がパワーダウン状態になります。

このとき、ネットワークコントローラは、ノード宛に入ってくる全てのフレームをスキャンし、Magic Packet フレームであることを示す特定のデータシーケンスを探します。Magic Packet フレームは、ソースアドレス、デスティネーションアドレス (受信側の MAC アドレス、またはブロードキャストアドレスを含むマルチキャストアドレス) CRC など、使用しているネットワークの基本的条件も満たしている必要があります。データシーケンスはブ레이크も割り込みもなく、ノードの MAC アドレスを 16 回繰り返すことによって構成されます。

このシーケンスは、パケット内のどこに位置していても構いませんが、必ず同期化ストリームの後に続いていなければなりません。16 回繰り返される MAC アドレスが、起動対象のコンピュータのアドレスと合致していれば、デバイスは、ブロードキャストフレームも受信します。このシーケンスは、TCP/IP パケット、IPX パケットなど、どのパケットにでも入れておくことができます。

また、Magic Packet フレームは、ネットワーク内で自由にブリッジしたり、ルーティングしたりでき、その場合でもフレームの宛先ノードを起動するという機能には影響を与えません。

フレームをスキャンした結果、上記のような特定のシーケンスが見つからなければ、ネットワークコントローラは、フレームを破棄し、それ以上の動作は行いません。シーケンスを検出した場合は、コンピュータのパワーマネージメント回路にアラートを送り、システムを起動します。

A.5 フローコントロール

A.5.1 フローコントロールとは

フローコントロールとは、バッファメモリがオーバーフローし、パケットロスが発生することを未然に防ぐための機能です。

本製品では、Full Duplex (全 2 重) モード時のフローコントロール (IEEE802.3x) に対応しています。Full Duplex モードにおけるフローコントロールは、PAUSE フレームをやりとりすることによって行われます。フローコントロールが正しく機能すると、受信側の装置は常にバッファメモリを監視し、メモリの空きが減少してくると送信側の

ポートに対して、Pause パケットを送信します。送信側の装置は、Pause パケットの情報を元に、パケットの送信を控えます。

A.5.2 フローコントロールの設定方法

本製品のフローコントロールは、デフォルトでOFFに設定されています。通常はこのままでご使用ください。

設定を変更する場合は、ハードウェア診断・設定プログラム「CFGZ1.EXE」を使用します。「CFGZ1.EXE」は本製品のドライバーディスク内の「DOSTOOL」ディレクトリに収められています。設定項目についての詳しい説明や設定の変更方法については、本製品のドライバーディスクの「DOSTOOL」ディレクトリに収められている、「README.CFG」を参照してください。

A.5.3 フローコントロールの使用条件

フローコントロールは、次の条件を満たし、設定をONにした場合にのみ正しく機能します。

- 通信速度および通信モード
本製品と接続先装置の双方が、Auto-negotiation、または、100M/10M Full Duplex (全2重)固定モードに設定されている。
- フローコントロール機能をサポート
接続先装置もフローコントロール機能 (IEEE802.3x) をサポートしている。



注意

本製品と接続先装置の間でフローコントロールが正しく機能しないと、ネットワークの転送速度低下などの問題が発生することがあります。

必ず、接続先装置のマニュアルなども参照し、本装置および接続先装置の設定を行ってください。

B 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電

話による問い合わせよりもより早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎0120-860-772

月～金（祝・祭日を除く）10:00-19:00

土（祝・祭日を除く）10:00-17:00

Fax: ☎0120-860-662

年中無休 24 時間受け付け

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

- ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン
本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev.) を調査依頼書に記入してください。



(例)

- ご使用の当社のソフトウェア
当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン (Ver.)、シリアル番号 (S/N) を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
- ご使用のコンピュータの機種
ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
- ご使用の周辺機器
CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリアマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
- ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など
接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など)

お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) 記入してください。

- ・障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- ・AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- ・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ・Windows95/98/NT の場合、お手数ですが、可能な限りシステムレポート（OS が自動生成するシステムに関するレポート、名称は OS によって異なります）を出力し、添付いただきますようお願いいたします。

接続の構成図

- ・ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98/NT が自動生成するシステムに関するレポート（名称は OS によって異なります）で、以下の手順で印刷することができます。

Windows95/98 の場合

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

Windows NT Version 4.0 の場合

- (1) 「スタート」 「プログラム」 「管理ツール（共通）」 「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。
- (2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

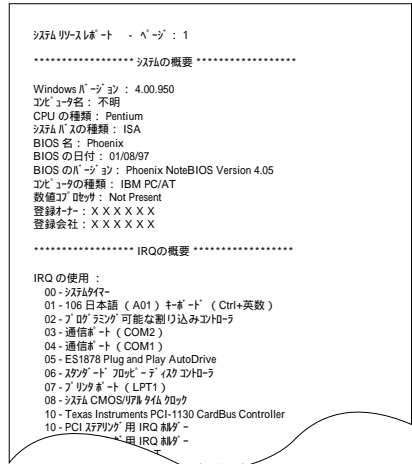


図 C.2.0.1 システムレポートの出力例（Windows95 の場合）

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teleซิส.com.jp/>」にアクセスします。
- (2) 「サポート」の「ダウンロード」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプター・ドライバー一覧リスト」をクリックしてください。
- (4) LAN アダプターの一覧から選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング（Tel: 0120-860-442、9:00～17:30 /月～金）までお問い合わせください。実際に最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

D ご注意

- ・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- ・アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- ・アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

E 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Wake on LAN は、IBM Corporation の登録商標です。

Magic Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

F マニュアルバージョン

1999年8月 Rev.A 初版

一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご連絡先住所: 〒

ご担当者:

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先 (TEL): ()

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン



LA100-PCI-T Z1

2. ご使用の当社のソフトウェア

本製品のドライバーディスク	Ver.	pl.	
CentreNET AT-TCP/32	Ver.	pl.	S/N
その他 ()	Ver.	pl.	S/N
その他 ()	Ver.	pl.	S/N

3. ご使用のコンピュータについて

メーカー名: _____ 機種名: _____
 OS: _____ バージョン: _____
 サービスパック: _____

4. ご使用の周辺機器について

CD-ROM ドライブ: _____
 サウンドボード: _____
 SCSI ボード: _____
 その他: _____

5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

6. トラブルの発生時期

セットアップ中に起こっている障害
 セットアップ後、運用中に起こっている障害

7. システムレポート

添付あり
 添付なし

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。